

芙蓉

vol. 41

2013.7月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地
TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119
<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811



「芙蓉会百十周年を迎えるにあたり」 (自立の努力と地域のご協力)

みどり園園長 内藤 順敬

今から百十年前富士育児院は産声を上げた。生活の資金として米国の善意による援助金を元に渡邊代吉は富士育児院を開設したが、次々と園児も増加し瞬く間に十三人の家族に成長した。援助金のみでは不足する院費を生み出すのに創設者代吉自ら行商をしたり、寄附金を集めたりと大変な努力をした。

しかしながら、代吉は自立を目指して種々活動をした、設立後八年間を総括して報告書として出版された富士育児院小観第三号には下記の記述がある。

「本年からは女子をしてそれぞれ手芸に従事せしめ、幾分なりとも経費の扶助を得んと手芸部なるものを開設致しました要するに女子に対する手芸なるものは、実に其の思想を綿密ならしむるのみならず、且美的好尚に基き品性を向上ならしむるものでありますれば、之は大い推奨して遺らしめたのであります、最初は当時此地方で最も盛んに流行したリンネ／レースの編物を主に致しましたが、相応の収利を得られる頗る好成績であったから、大いに望を属し漸次拡張して、卓用覆布及び窓懸等の如きものに専ら力を注ぎ、…」とある。

此の成果は記録によると明治四十年年度総収入四百六十八円九十銭の内六十七円二銭が手芸部収入とされ14.3%弱を占める。明治四十一年度は収入総額五百拾貳円の内七拾円壱拾五銭と13.7%強である。

援助金と自立による資金獲得ではまだ不足する金額は寄附金に頼る他は無く寄附金の募集にも力を出した。そして多くの方から寄附金を頂いた。その中には寄付をするだけで無く寄附金の募集に協力する方もあった。例を示すと「明治四十年に入り、一月に駿東郡沼津町の同情者本村莊次郎氏の寄付金により慈善箱三個を調整して、その筋の許可を得て沼津、鈴川(現JR吉原駅)、静岡駅の三駅の待合室に設置して募金をした。」「本村莊次郎氏は沼津城内町で富士荷扱所を経営、院創立以来院費不足の折は必ず同氏に金員助力を仰いでいた」と記録されている。運送業に従事しているので鉄道の駅とは関係があり思いついて進言したのであろう。時期については不明であるが富士山頂にも慈善箱が設置され募金をした。「富士山頂の慈善箱 富士郡大宮町(現富士宮市)菅沼昭作氏は従来屢々金員を寄贈し経営につき助力せられつつありしが、此度富士合資会社社長成田武次郎氏と両氏にて富士山頂への慈善箱設置に付き非常なる尽力をせられたり、茲に両氏の厚意に謝す。」

斯様な記述がある如く、富士育児院の経営には地域の皆様のご協力が在って成り立ってきた。何ら財的基盤によるでなく、一貧乏人とアメリカの善意のある方々の慈善的な援助金で発足し、富士育児院から社会福祉法人芙蓉会として成長し百十年を迎えることが出来たことは神のご加護と、ひとえに地域の皆様のご協力の賜として感謝する次第であります。

創立110周年記念式典



礼 拝



理事長挨拶

みぎわ園

「蕎麦打ち」

昔の記憶を思い出しながら、利用者様と一緒に蕎麦打ちを行いました。

懐かしいね。昔を思い出すよ。家でもやりたいから分量教えて。などと言う声が皆様より聞かれました。また中心となって行ってくれた利用者様の手つきがプロ並みで驚きました。

もうちょっとでできるよ



体重をかけてよっこいしょ!



よーく、こねて



* テイサービスセンターみぎわ園 *

お花見に出かけました

季節を感じて頂きたくお花見に行きました。中央公園のバラ、浮島メガネ池の菖蒲を見てまいりました。季節を感じると共に屋外での歩行訓練、人との交流をすることができました。今後も季節に合わせた行事を行っていきます。



お寿司を食べに行ってきました

1人1人に行きたいところを聞き、お寿司屋さんに行ってきました。メニューを眺めご自分が食べたいものを選び、召し上がっておいしかったです。

「おいしかった。」「良かった。」「有難う。」との声があがり、職員も喜んでくださる利用者様を見ていると温かな気持ちに包まれました。

今後も皆様に喜んでいただけるような企画を行っていきます。



* ふようデイサービスセンター *



さあ、どこにいこう

ふようデイでは、5月・6月と外出を行いました。公園・買い物・昼食それぞれ行きたい場所を事前にアンケートを行い、利用者様の希望の場所にお出かけしました。

三人仲良く休憩中



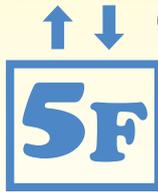
ひまわり園



大地



5月末日、看護学校に通う子どもの戴帽式（ナースキャップを頂く儀式）が有りました。厳かな雰囲気の中、緊張した表情で帽子を受ける姿を見て、此方も身が引き締まる思いがしました。夢を持ち目標に向かって頑張る姿が、先輩たちのいい刺激になっています。



銀河



部活動で忙しい日々合間に、朝早く眼をこすりながら出掛けて行き、海での釣りを楽しむことが出来ました。

釣った魚は持ち帰り、自分達で調理して、一日の釣りの思い出を話しながら、おいしく頂きました。

けやき

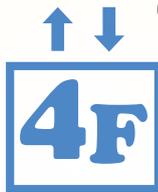


けやき子ども達が職員の誕生日にサプライズでお祝してくれました。

ケーキを作ってくれている時のみんなを想像すると…涙。

温かい感謝の気持ちでいっぱいです。

みんなありがとう！



かえで



ゴールデンウィークを利用し、岩本山公園へお弁当を持って出掛けました。

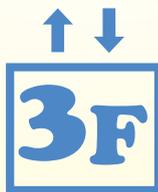
とても天気がよく、広いところで、思いっきり走りまわり、ハイキングをして自然をみんなで満喫する事ができました。

りんどう

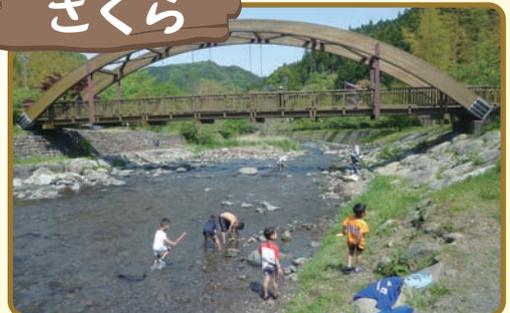


りんどうの子ども達は、4月28日に丸火自然公園でバーベキューを行いました。

思い切り食べ、遊ぶ事ができ、楽しい一日を過ごす事が出来ました。



さくら



GWに黒川で川遊びを楽しんできました。天候に恵まれ、生き物を探したり、川に飛び込んだり、水を掛け合って遊んだり…

一足早く夏を満喫してきました。

みどり園



散歩

子ども達は散歩が大好き。天気が良い日は散歩に出かけます。近くの公園で花や虫を見つけては、嬉しそうに養育者に知らせてくれます。

特に車やトラック、ゴミ収集車が通ると身を乗り出して見えています。



遊び

子ども達は遊ぶことが大好きです。遊ぶ場所、玩具を工夫しながら子ども達が楽しんで遊べるように心がけています。廊下が長く子ども達が手押し車を押して歩行したりコンビカーに乗って遊んでいます。

鏡遊びをし、いい表情を見せてくれます。

サンデッキに出て外の空気に触れながらシャボン玉遊びを楽しみます。

シャボン玉が目の前に飛んできると目で追ったり、手でつかもうとするなど、かわいらしいしぐさを見せてくれます。



リトミック

毎週水曜日にリトミックの先生に来ていただき、ピアノに合わせてリズム遊びを楽しんでいます。笑顔が絶えず、とてもいい表情を見せてくれます。



ひろみ



私は4月からひろみで保育士として働かせて頂いています。初めは特に料理を作るのがとても大変でしたが、2ヶ月経った今では大分慣れて、料理も上達してきました。子どもたちの「美味しい」の一言が励みになっています。

これから辛いこと楽しいこと沢山あると思いますが、私らしく頑張っていきたいと思いを
ひろみ保育士 高梨有希

法人本部

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は109年の歴史と共に地域に愛され、民間社会福祉としての活動と役割を果たすべく、社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。

平成24年度は、法人として富士市及びこの地域の中で何が必要とされ何を還元できるのか、また、国が社会福祉法人に何を望んでいるのかの中で児童・高齢者と限定するのではなく其々が共存し得る「複合型施設」が必要ではないかと考え、本事業を進めるべく建設用地を取得いたしました。

本事業は、介護保険施設に主たる役目があると考え、最終的には児童と高齢者の複合施設と考えております。なお、第一次事業計画(H24～H26)から第三次事業計画まで複数年に渡ります。

児童養護施設ひまわり園

平成24年度は、児童定員90名に対して77名(男子44名、女子33名)でスタートしました。年間で入所した児童は15名(男子4名、女子11名)、退所した児童は9名(男子6名、女子3名)でした。年間を通しての平均在籍数は、82.4名(充足率91.6%)でした。その他、一時保護延べ8名、ショートステイ1名を受け入れました。

地域小規模児童養護施設ひろみ

平成24年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:平成24年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。平成24年度は、小学生1名、中学生3名、高校生2名の計6名(女子)でのスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持ってるように努めました。

子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るように、児童会である「キンモクセイの会」と、子どもと職員の話合いの場である「ひろみ会議」月1回実施してきました。行事についても、この話し合いでの意見をもとに計画、実行致しました。

また地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。防災面においても、地域の防災訓練は児童と共に主体的に参加し、近隣住民の方々や災害時の連携について話し合うなど、お互いに協力し合える関係の構築に努めました。

また地域の方からはたくさんの野菜やお菓子、衣類などを頂いたり、子ども達とも自然な関わりを持って下さるなど様々な面で支えられて生活をしてきました。逆にひろみの子ども達や職員も近隣の草取りやゴミ出しを手伝ったりと、地域の一員として生活することを大切にしました。

恩賜記念みどり園

平成24年度は定員30名で事業を実施する事ができました。年度当初の在籍数が13名ということから、積極的に緊急一時保護や入所依頼を受けて参りました。平成24年度中の入所は23件、一時保護は20件で、内7名が虐待のケースでしたが、年間の入所率は平均で67%という結果になりました。

平成25年度は暫定定員での運営となりますが、県内4施設中3

施設が暫定定員となることもあり、措置費による運営施設の経営の難しさや、厚生労働省が推進している「家庭的養護」に関する施策と、現状との差が浮き出てきているとも考えられ、「家庭的養護推進計画」作成の折には、県内の乳幼児定員の見直しが必要であるという認識が生じてきました。

基本目標や実施目標に掲げた、愛着形成の促進による「よりよい関係作り」に関する取り組みは、ユニット制による養育や、0歳児小規模グループケアの実施、日中一人の養育者がみえる児童数を少しでも減らすという、養育単位の小規模化への取り組みや、職員給食導入により、大人と一緒に食事をする等の取組を通して子ども達の心の安定に努めました。平成24年度の16名の退所児童中8名の児童を家庭への復帰に繋げられ、家庭復帰率は50%と前年よりも増加しましたが、里親への委託は19%弱と昨年を下回る結果となりました。

乳幼児の緊急一時保護施設の役割を果たしている乳児院として、感染症対策の機能強化を計るべく、電解水生成システムの導入や、居室床面の抗菌コート剤塗布等の対策を講じましたが、システムを上手く使いこなすことが出来ず、10月・11月マイコプラズマ肺炎、3月にロタウイルスによる感染性胃腸炎、RSウイルスの園内への侵入を許してしまいました。このことから今後の感染症対策の見直しや、電解水の使用法の検討による新たな感染症対策の構築という課題を残しました。

平成24年度受診予定であった第三者評価の受診に関しては、静岡県内の評価機関の登録が遅れたため、平成25年度に受診を延期しましたが、園内では第三者評価準備委員会を設置し、4月より受診の準備を進めてまいりました。毎月1回会議を行い、自主評価を行うことで、園内の現状の把握と、職員の間での認識の格差は正や、改善点の提案等、次年度に向けた対応を行い、より子ども達主導の養育を目指しての取組や、課題の検討をする機会を持つことができました。

特別養護老人ホームみぎわ園

H24年度は介護保険法改正の年で改正後2%の改定率は、如何に稼働実績を上げて反映させるかでありました。新たにショートステイ事業に導入された緊急時受入れ体制は、各居宅支援事業所のケアマネ等からは、大いに歓迎されました。通所サービス系については提供時間の変更等で、利用数の伸びに欠け、収入減に至った反省は次年度への検討課題として努力を要する所であります。

開設1年の吉原西部地域包括支援センターについては、担当地域に多くの問題を抱えている実態が垣間見え、老人福祉の総合相談を背景として更に信用と信頼の評価が得られるように、地域貢献に努力する所であります。

特養ユニット内では介護充実に向けた個別処遇へのアプローチが図られ、看取り介護についても看護介護の連携の下、ご家族と共に9名の方々の尊厳を持ったターミナルケアを完結しました。ご遺族からの感謝の言葉に励まされ、私達に勇気と達成感を与えて頂き、意を強くした看護と介護の実績でありました。平成25年度に向けた新会計基準への移行準備に伴って従来の各事業所口座勘定の一本化は、資金の流れの有効性と、将来展望を視野に入れた資金運用管理が可能になりました。

大規模災害防災上の整備は、実効性ある準備を計画しつつの一年であり、全体として今年度は、経営も安定しつつ介護技術、職員の連帯感等の向上を受け、地域老人福祉への新たな支援を進めるとして、開設10年を迎えるみぎわ園の布石となった一年でありました。

平成24年度 社会福祉法人芙蓉会

会計報告

財産目録

平成25年3月31日現在

第6号様式

貸借対照表

平成25年3月31日現在

第5号様式

資産・負債の内訳		金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	現金手許有高	383,316
普通預金	富士信用金庫 今泉北支店	93,254,891
	静岡銀行 吉原北支店	27,581,278
	富士市農協協同組合 大洲支店	30,201
	富士市信用金庫 国久保支店	76,614
	富士信用金庫 今泉北支店	40,000,000
	富士信用金庫 今泉北支店	56,400,000
	静岡銀行 吉原北支店	35,235,000
未収金		
未収金	3月分介護保険報酬収入(1割)他	15,440,987
未収金国保	2.3月分介護保険報酬収入(9割)他	71,684,635
前払金	集会室・乳児院 火災保険料 他	539,107
流動資産合計		340,626,029
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
建物	所在 今泉宇原太坂2220 他6棟	1,453,113,223
土地	所在番地 今泉宇小松2103番 他81筆	261,968,350
基本財産特定預金	一号基本金	4,983,585
基本財産合計		1,720,065,158
(2) その他の固定資産		
建物	所在 今泉宇原太坂2210	7,600,611
造作	地域包括支援センター改修工事	11,749,961
構築物	遊具10基 他	10,742,179
機械及び装置	自家用発電機3基 他	4
車両運搬具	車輛50台	3,076,455
器具及び備品	車輛22台	17,132,160
土地	所在番地 大洲島迫道8849番 他40筆	206,892,348
建設仮勘定		210,000
保証金	セコム他	90,000
投資有価証券	富士信用金庫出資証券	50,000
長期貸付金		1,898,900
退職共済預け金		13,518,313
措置施設繰越特定預金		101,570,044
措置施設繰越特定預金	人件費積立特定預金	22,520,254
	修繕積立特定預金	22,000,000
	備品等購入積立特定預金	30,500,000
	施設整備費積立特定預金	1,000,000
	記念事業積立預金	71,905,624
	施設運営費積立預金	47,138,809
	植松茂子奨学積立預金	569,595,662
その他の積立預金	その他の固定資産合計	2,289,660,820
固定資産合計		507,350,165
資産合計		2,122,936,684
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	3月分業者支払分 他	28,816,982
預り金	3月分社会保険料 他	10,544,870
賞与引当金		39,020,000
流動負債合計		78,381,852
2. 固定負債		
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	214,450,000
長期運営資金借入金	富士信用金庫 今泉北支店	200,000,000
退職給付引当金		13,518,313
記念事業引当金		1,000,000
固定負債合計		428,968,313
負債合計		507,350,165
差引純資産		2,122,936,684

資産の部			負債の部				
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産				流動負債			
現金・預金	340,626,029	325,641,607	14,984,422	現金・預金	78,381,852	91,789,451	△13,407,599
未収金	87,125,622	92,398,010	△5,272,388	未払金	28,816,982	37,652,139	△8,835,157
立替金	0	3,406,121	△3,406,121	預り金	10,544,870	10,553,312	△8,442
前払金	539,107	606,526	△67,419	賞与引当金	39,020,000	43,584,000	△4,564,000
固定資産	2,289,660,820	2,103,613,257	186,047,563	固定負債	428,968,313	258,113,313	170,855,000
基本財産	1,720,065,158	1,787,364,505	△67,299,347	設備資金借入金	214,450,000	241,600,000	△27,150,000
建物	1,453,113,223	1,261,412,570	△191,700,653	長期運営資金借入金	200,000,000	2,208,000	197,792,000
土地	261,968,350	261,968,350	0	退職給付引当金	13,518,313	13,305,313	213,000
基本財産特定預金	4,983,585	4,983,585	0	記念事業引当金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	569,595,662	316,248,752	253,346,910	負債の部合計	507,350,165	349,902,764	157,447,401
建物	7,600,611	7,182,023	418,588	純資産の部			
造作	11,749,961	12,427,998	△678,037	基本金	345,258,921	345,258,921	0
構築物	10,742,179	13,044,499	△2,302,320	1号基本金	306,910,548	306,910,548	0
機械及び装置	4	4	0	2号基本金	2,300,000	2,300,000	0
車両運搬具	3,076,455	2,789,024	287,431	3号基本金	36,048,373	36,048,373	0
器具及び備品	17,132,160	18,679,000	△1,546,840	国庫補助金特別積立金	1,053,725,168	1,108,740,434	△55,015,266
土地	206,892,348	11,447,800	195,444,548	国庫補助金特別積立金(整備)	1,053,725,168	1,108,740,434	△55,015,266
建設仮勘定	210,000	0	210,000	その他の積立金	295,634,731	236,094,191	59,540,540
保証金	90,000	90,000	0	人件費積立金	101,570,044	57,500,000	44,070,044
投資有価証券	50,000	50,000	0	修繕積立金	22,520,254	22,500,000	19,702
長期貸付金	1,898,900	138,900	1,760,000	備品等購入積立金	30,500,000	30,000,000	500,000
退職共済預け金	13,518,313	13,305,313	213,000	施設運営費積立金	71,905,624	55,447,725	16,457,899
措置施設繰越特定預金	176,590,298	182,000,552	△4,589,746	植松茂子奨学積立金	47,138,809	49,645,914	△1,507,105
その他の積立預金	120,044,433	105,093,639	14,950,794	次期繰越活動収支差額	428,317,864	389,258,554	39,059,310
資産の部合計	2,630,286,849	2,429,254,864	201,031,985	次期繰越活動収支差額(うち当期活動収支差額)	428,317,864	389,258,554	39,059,310
				うち当期活動収支差額	98,599,850	66,242,575	32,357,275
				純資産の部合計	1,122,936,684	2,079,352,100	43,584,584
				負債及び純資産の部合計	2,630,286,849	2,429,254,864	201,031,985

資金収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

第1号様式 (単位：円)

勘定科目	予算	決算	差異
經常活動による収支			
収入			
介護保険収入	573,413,000	573,596,869	△183,869
措置費収入	444,270,000	444,566,664	△296,664
經常経費補助金収入	19,930,000	18,705,012	1,224,988
寄附金収入	2,978,000	2,728,574	249,426
雑収入	10,122,000	10,145,186	△23,186
借入金利息補助金収入	325,000	325,100	△100
受取利息配当金収入	920,000	982,737	△62,737
経理区分間繰入金収入	10,000,000	72,520,774	△62,520,774
經常収入計(1)	1,061,958,000	1,123,570,916	△61,612,916
支出			
人件費支出	665,741,000	668,856,165	△3,115,165
事務費支出	131,717,000	124,456,762	7,260,238
事業費支出	159,272,000	155,658,330	3,613,670
利用者負担軽減額	626,000	608,490	17,510
借入金利息支出	2,867,000	2,937,327	△70,327
経理区分間繰入金支出	10,000,000	72,520,774	△62,520,774
經常支出計(2)	970,223,000	1,025,037,848	△54,814,848
經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	91,735,000	98,533,068	△6,798,068
施設整備等補助金収入	3,833,000	3,833,000	0
施設整備等収入計(4)	3,833,000	3,833,000	0
固定資産取得支出	201,861,000	200,331,474	1,529,526
施設整備等支出計(5)	201,861,000	200,331,474	1,529,526
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△198,028,000	△196,498,474	△1,529,526
借入金収入	200,000,000	200,000,000	0
借入金元金償還補助金収入	12,775,000	12,770,000	5,000
積立預金取崩収入	1,312,000	1,787,066	△475,066
その他の収入	310,000	1,076,424	△766,424
財務収入計(7)	214,397,000	215,633,490	△1,236,490
借入金元金償還支出	27,150,000	29,358,000	△2,208,000
積立預金積立支出	61,920,000	61,327,606	592,394
その他の支出	3,079,000	3,154,457	△75,457
財務支出計(8)	92,149,000	93,840,063	△1,691,063
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	122,248,000	121,793,427	454,573
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	15,955,000	23,828,021	△7,873,021
前期末支払資金残高(12)	279,969,945	277,436,156	2,533,789
当期末支払資金残高(11)+(12)	295,924,945	301,264,177	△5,339,232

事業活動収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

第3号様式 (単位：円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
事業活動収支の部			
収入			
介護保険収入	573,596,869	564,390,821	9,206,048
措置費収入	444,566,664	418,357,155	26,209,509
經常経費補助金収入	18,705,012	17,329,520	1,375,492
寄附金収入	2,728,574	5,378,194	△2,649,620
雑収入	10,145,186	8,192,473	1,952,713
借入金償還補助金収入	12,770,000	12,770,000	0
引当金戻入	6,353,000	123,266,076	△116,913,076
国庫補助金等特別積立金取崩額	55,015,266	52,776,719	2,238,547
事業活動収入計(1)	1,123,880,571	1,202,460,968	△78,580,387
支出			
人件費	668,856,165	659,947,573	8,908,592
事務費支出	124,456,762	113,519,446	10,937,316
事業費支出	155,658,330	157,559,532	△1,901,202
利用者負担軽減額	608,490	1,063,977	△455,487
減価償却費	75,797,447	78,817,880	△3,020,433
引当金繰入	2,002,000	124,433,000	△122,431,000
事業活動支出計(2)	1,027,379,194	1,135,341,408	△107,962,214
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	96,501,377	67,119,560	29,381,817
借入金利息補助金収入	325,100	373,124	△48,024
受取利息配当金収入	982,737	821,427	161,310
経理区分間繰入金収入	72,520,774	22,253,779	50,266,995
事業活動外収入計(4)	73,828,611	23,448,330	50,380,281
借入金利息支出	2,937,327	3,072,546	△135,219
経理区分間繰入金支出	72,520,774	22,253,779	50,266,995
雑損失	238,200	88,976	149,224
事業活動外支出計(5)	75,696,301	25,415,301	50,281,000
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	1,867,690	△1,966,971	99,281
經常収支差額(7)=(3)+(6)	94,633,687	65,152,579	29,481,108
施設整備等補助金収入	3,833,000	3,833,000	0
その他の特別収入	16,981,349	0	16,981,349
特別収入計(8)	20,814,349	75,391,000	△54,576,651
固定資産売却損処分損	4	4	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	74,301,000	△74,301,000
その他の特別支出	16,848,182	0	16,848,182
特別支出計(9)	16,848,186	74,301,004	△57,452,818
特別収支差額(10)=(8)-(9)	3,966,163	1,089,966	2,876,197
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	98,599,850	66,242,575	32,357,275
前期繰越活動収支差額(12)	389,258,554	325,750,751	63,507,803
当期未繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	487,858,404	391,993,326	95,865,078
その他の積立金取崩額(16)	1,787,066	20,539,424	△18,752,358
その他の積立金積立額(17)	61,327,606	23,274,596	38,053,010
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(16)-(17)	428,317,864	389,258,554	39,059,310

新入職員紹介

みぎわ園



岡本 美姫 渡邊 咲帆 大川 千夏 大箸 真奈美 法月 歩 半田 智早 渡辺 初美 中野 幸史 中根 遥子 勝又 きよみ 宮本 宗幸

ひまわり園

みどり園

ひろみ



高嶋 月菜 永嶋 綾香 民部田 厚 櫻井 宏樹 佐野 静香 鈴木 衣津美 菊島 薫 吉田 ゆき子 高梨 有希

ありがとう

当法人にたくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げここに紹介させていただきます。(敬称略)

沖本洋子、落合理、小穴菅登、太田康彦、金盛妙子、川島泰彦、勝又長見、金子圭介、菊池光男、こしじ 山内則子、光栄寺 戸澤詠子、甲田商店、小林栄子、小西徳三、佐野裕子、篠原桂子、白井ひろみ、(株)ジェイ・ストーム、鈴木重勝、戸巻ひさ子、戸巻紀美子ナガトカチコ、内藤恵美子、はなまる薬局、富士市社会福祉協議会、プラチナ会、堀川ちと子、松野邦章、マルハン荒田島店、マルハン鷹岡店、蓑ゆかり、宮地正明、緑ヶ丘町内会、森志生子、安ヶ平吉朗、山下雄司、(財)養鰻振興基金のぼり会事務局、渡部陽子、渡辺建設工業(株) (H25.3.10~6.13)

ボランティアさん紹介

「りぼん」



片平 陽子さん



石川 ふみ子さん

みどり園にボランティアに入らせていただいて、10年以上が経ちました。子どもたちと一緒に遊んだり、食事介助をしたり、3時間程の短い時間ではありますが、とても楽しい時間を過ごさせてもらっています。

みどり園にいて感じることは、保育士の方たち、調理の方たち清掃の方たち、一人ひとりに愛情を持って接していることです。

私達が伺うたびに子どもたちの成長も感じられ、また会いに来たいと思いながら帰ります。

先日、いつも会う男の子に「私、また来るけど、遊んでくれる?」と話けると、笑顔でうなずいてくれてうれしかったです。幼児とは思えない大人っぽい対応にも感じました。

みどり園でみる子どもたちの笑顔が大人になってもずっとずっと続きますように、いつも願っています。

後援会会員芳名 (敬称略)

青山百合子 伊藤芳亮 内田牛乳店 佐藤健治
白井ひろみ (有)鈴吉商店 月岡米子 戸塚保次
戸巻ひさ子 戸巻紀美子 内藤恵美子 芳賀正治
芳賀道子 松本一繁 望月保夫・瑠美子
ヤマグチ電機(株) 吉原教会 (株)大松園

後援会について

年間会費 } 1口 1,000円
個人会費 }
会社 } 1口 3,000円
団体会員 }
何口でも結構です

振込先

郵便局振替口座
・口座番号 00880-0-2423
・口座名称 芙蓉会后援会



お悔やみ

社会福祉法人芙蓉会元理事内田冬子様におかれましては、去る6月19日にご逝去されました。ここに生前のご協力を深謝し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

首安箱

(H25.4~H25.6)

施設名	時期	内容	回答(対策)
みどり園	4月	緊急一時保護でお預かりした5か月のお子さんのオムツかぶれを悪化させてしまったことで、職員の業務に対する姿勢や、個別の対応について職員に徹底できていないのではないかとご指摘をいただきました。	謝罪に伺い、関係する職員への指導を行うと共に、職員会議時に子どもへの対応についての確認を行い、ユニット会議時に関わり方や、対応についての見直しを検討する機会を設け、職員間での徹底を図りました。
みぎわ園	5月	利用者ご家族さまより「施設より送られてきた預り金台帳と振込通知書に相違があるようなのですが確認をお願いします」と問い合わせがありました。	原因は預り金台帳を毎月20日メで処理している為、21日から末日までに通帳振込があった場合に送付させていただいた台帳と不一致が生じてしまう為でした。 お問い合わせ頂いたご家族様には、お詫びと併せて処理説明のお手紙と通帳のコピーを送付させていただきました。 また、他の利用者様(ご家族)にも説明の文章を送付させていただきました。

※今回、他の施設はありませんでした。

編集後記

今年も水不足が心配されます。世界に目を向けると飲料可能な淡水の埋蔵量が減少している様です。日本は自然豊かな島国。その為水に対する意識が低くなりがちです。感謝の気持ちを大切にしていきたいです。